

科目名	精神看護学特別研究 Research Project in Psychiatric and Mental Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 2年次	科目 区分	専門科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	12(180)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生	否
										遠隔授業	否	
科目 目的	精神看護学分野の特論・演習を踏まえ、それぞれの研究課題を、適切な研究手法と論理的な考察を用いて、探究する。											
到達 目標	1) 研究者としての基礎的な研究能力および研究への姿勢を養う。 2) 研究課題を明確にし、研究計画書を作成し、適切な研究手法と論理的な考察を用いて、修士論文を作成する。 3) 修士論文発表会と審査会において論理的なディスカッションを行うことができる。											
成績評価方法 (基準)	研究過程および修士論文、修士論文発表会、最終試験により評価する。											
教科書	なし											
参考書等	アメリカ精神医学会(2010)/ 前田樹海、江藤裕之、田中健彦訳(2013): APA論文作成マニュアル(第2版), 医学書院, 東京. その他、随時紹介する。											
受講者への メッセージ	「この看護行為を実施する根拠はあるのだろうか」「もっと良い看護方法があるのではないだろうか」から研究は始まります。臨床で感じた疑問や気づきを大切に、科学的根拠を作るために必要な技術と実践を学習していきましょう。											
備考	主に疫学的手法(量的研究)を用いて、デザインから執筆まで指導しますが、研究課題によっては質的研究法にも柔軟に対応いたします。また、定期的にミーティングを実施し、進捗状況を確認いたします。											
学 習 内 容												
【1年次前期】												
1 精神看護学領域の重要な課題について、自らの関心のあるテーマについて文献検索および先行研究のクリティークを十分に行う。先行研究のクリティークの結果のレビュー、関心テーマにおける既存の知見と今後の課題をレポートにまとめる。												
2 自らの問題意識を明確にした上で、自らの研究課題を明らかにする。自らの研究課題の看護学における学術的価値と精神保健福祉における社会的価値を記述する。												
3 様々な研究方法を概観した上で、自らが設定した研究課題を探究するために適切な研究手法を特定し、詳しく学ぶ。												
【1年次後期】												
1 研究計画書を作成し、中間審査を受ける。研究計画書は、自らの研究課題の意義と重要度、先行研究との関連性について明確かつ一貫性のある論旨を展開する。また、研究課題と研究手法の整合性について論理的に説明する。												
2 各種の倫理指針を熟読し、研究を遂行する上での倫理上の課題を明らかにし、適切な倫理的配慮を考える。また、研究倫理について審査を受けるための手続きを学び、適切な書類を作成する。												
【2年次前期】												
1 研究計画に従って、データ収集および分析を行う。												
2 得られた結果を適切な表現および表記でまとめ、データ分析の中間報告を行う。												
【2年次後期】												
1 得られた結果を先行研究を参考に論理的に解釈し、研究の意義と今後の課題を明確にした上で、修士論文を作成する。												
2 修士論文発表会と最終試験においてプレゼンテーションおよび討議を行う。												
上記の学習を通して、研究者としての基礎的な研究能力および研究への姿勢を養う。												